

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		家電量販店(店長)	来客数の動き	・消費税増税による駆け込み需要特需で、集客、売上共に、好調に推移している。
		一般小売店〔家電〕(経営者)	販売量の動き	・消費税増税関連で、販売が伸びている。
		コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・競合店が閉店したため、やや良くなっている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・販売量が増加しており、消費税増税前の駆け込み需要を感じる。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・車両販売、車検入庫台数は、目標を上回っている。しかし、車検は1か月前から受検可能なため、消費税増税前に入庫するということが考えられ、10月の入庫台数が目標をクリアできるかが課題である。
		自動車備品販売店(従業員)	来客数の動き	・消費税増税前で来客数は増えており、全体的にはやや良くなっている。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・今月の法人が利用する一般宴会と呼ばれている宴席は、前年9月と比べて件数、売上共に、20%増である。消費税増税前に、法人利用が増えているようである。
		ゴルフ場(経営者)	お客様の様子	・地域色が濃く年配者が多いコースなので、館内で地元選挙の話題がよく聞かれる。健康で仲間と長くゴルフを続けてもらうよう来場者に勧めている。
		その他サービス〔葬祭業〕(経営者)	お客様の様子	・消費税増税前でも、この仕事は余り関係がないと思っていたが、永代供養墓、合葬墓の依頼がかなりある。まさか、駆け込み需要があるとは思っていなかった。
		商店街(代表者)	単価の動き	・10月1日から消費税増税となるが、当店の商材は、税金が上がる前に買いためするような商材とは違うので、ほとんど例年と変わらない。
		一般小売店〔家電〕(経営者)	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要は、大手企業の設備投資的な動きや、一般消費者でも経済的に余裕のある消費者である。家電はメーカーの欠品もあり、思うような売上に結び付かない。
		百貨店(売場担当)	お客様の様子	・景気回復傾向に変わりはないが、消費税増税前の客の買い方に変化を感じる。通常は、今着られる単品のコーディネート品が売れるが、現在は単価の高い重衣料が売れている。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・消費税増税前の酒や住居用品の駆け込み購入をみると、やはり不安感はあるようである。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・暑い時期と比べて、やや消費が落ちている。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・新規の顧客がなかなか獲得できないなか、既存のリピーター客の高齢化なども原因の一つと考えられるが、寸法直しなどの修理部門は、ある程度の需要はある。ただし、オーダー部門が伸びない。同業他社や卸業の反応も良くない。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・QRコード決済が始まっているものの、増加ではなく、例月と同じ来客の動きである。
		タクシー運転手	単価の動き	・前年と同様、今月も95～98%くらいで終わりそうである。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・特段、販売量や契約件数に直結するような経済の動きがないため、良くも悪くも変わらない。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・依頼数は、変わらず多い。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要は全くない。いつまでも半袖で過ごせるような気温では、秋物など見る気もしないのか、全くの不振である。
	スーパー(経営者)	来客数の動き	・今月下旬から駆け込み需要があるが、少ない。来月からが心配である。	

	スーパー（経営者）	お客様の様子	・売上は前年比26%の減少である。前年は250万円ほどのイベントがあったが、今年はなく、来客数も6%減少している。中旬の秋祭りも終わり、週末は他地区の秋祭りや敬老会と、毎週忙しい。当市のような田舎にも、インドネシアやベトナムからの若い労働者が来て働いている。3年すると帰国し、別の人が来る。日本人は安い発泡酒を買うが、外国人は国産ビールをケース買いするので、店としては、大変ありがたい。軽減税率とキャッシュレスで混乱しているものの、準備は本部の指導でできている。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・10月の消費税増税で客足は幾分遠のき、回復には1か月を要するとみている。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今まで売上が伸びていた時間帯の売上が、厳しくなってきたので、やや悪くなっている。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・お盆休み等で出費がかさんだ後なので、例年売上が落ち込むが、消費税増税前でもあるせいか、客は控え気味である。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・店舗で食事をする客は減るとみている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年、9月は「天然きのご鍋」など人気メニューがあるので、予約、フリー客共に増えるが、今年は全く人が動いていない。	
	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・連休にやってきた台風は痛手であった。それ以外の天候は比較的安定していたものの、来客数は伸びない。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・10月から消費税が増税されるので駆け込み需要があるかと思われたが、増税後にキャッシュレスポイントなどの施策があるためか、むしろ9月後半の動きが悪い。	
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・「消費税増税前に」を合言葉のように、物販系はセールを行い、にぎわいを見せているが、予約に頼るホテル業では先の予約状況が悪い。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・数か月前からの予約受注の販売に落ち込みはないものの、フリー客がメインの店舗では非常に落ち込んでいる。天候が荒れることはなかったので、増税への買い控えを感じる。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・他社への乗換えによる解約、保留は、徐々に落ち着いてきているものの、新規加入もなかなか増えていない。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・既存別荘の取壊し件数が、前年に比べて増加している。	
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・職種が駆け込み需要とは関係がなく、2週連続の連休も天候に恵まれず、最悪である。
	×	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・老後2千万円問題、消費税増税など消費者の不安要素をマスコミが余りにもあおって報道し過ぎている。消費者の購買意欲はかなり低下している。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・本当に景気が悪い上に、10月の消費税増税で、どうなるか心配なことがたくさんある。競争相手がどうなっているかも気になっている。
	×	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・米中貿易摩擦が徐々に日本にも影響し、特に、下請の中小企業の景気が低迷し始めている。また、ゴールデンウィーク時の出費もあり、宿泊旅行が減少し、安近短な日帰りとなっている。
企業 動向 関連  (甲信越)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み工事依頼が増えているが、2～3か月後に延期してもらうか、断るしかない状態である。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の特需は期待できないが、主力商材に注力することで、前年比で何とかプラスを保っている状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品が動き出している。
		食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・依然として、安売りが止まらない。
		食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・天候不順の影響で、各メーカー共、来客数は減少している。消費税増税前の駆け込み需要が若干みられる。

	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税ということで、特需があるかと期待していた が、前年と変わりはない。
	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・年末商材や受注品対応で、例年同様、繁忙期となる。
	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業で米中貿易摩擦の影響がみられるが、企業の好不調 差が生じており、景況感はまだまだ模様の状況にある。
	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・富士山周辺の観光地では、日韓関係悪化の影響もあるもの の、比較的堅調に推移している。
	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前で、数多く展示会が企画された。宝飾業界で は増税前の駆け込み需要の影響は少ないとはいえ、集客、売 上共に前年並みには確保できている。卸売では地金の高騰に より、収益が圧迫されている。香港での展示会は、デモの影 響が大きく、売上は大幅減である。
	x	*	*
雇用 関連	-	-	-
(甲信越)	-	-	-
	人材派遣会社 （営業担当）	求職者数の動き	・求職活動がうまく行っていない方が多く、せっかく仕事が 決まっても条件が違うため、退職者が後を絶たない。正社員 枠にこだわらず仕事を探した方が良いと思うが、将来的に考 えると正社員でない不安だということも分かる。
	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・人材募集企業は多いものの、広告費用をかけて求人チラ シ、求人誌に掲載する企業は、大分減少している。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・中国向けの出荷の落ち込みで、製造業求人の減少傾向が続 いている。一方、サービス、運輸、建設業等の採用意欲は、 相変わらず高水準で推移している。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・製造業全般の求人数が減少しているようである。
	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業で、受注の見通し不安が続く、求 人減が顕著となってきている。
	x	-	-